別紙様式

令和 6 年度 学校評価シート

学校名：和歌山県立有田中央高等学校清水分校　　校長名：村崎 隆志

目指す学校像・育てたい生徒像（スクール・ポリシー等に基づいて記載する）

【目指す学校像】
・地域の教育資源を最大限に活用した、分校ならではの特色ある学校。
【育てたい生徒像】
・学んだことや体験したことを活かして、自ら考え、行動ができる。
・基礎学力・コミュニケーション能力を身につけ、自己肯定感を高め、自分に自信が持てる。
・地域の産業や自然環境・社会環境についての理解を深め、社会から信頼され社会に貢献できる。
・他者と協働して課題解決に取り組み、生涯をとおして学び続ける姿勢を身につける。
・自己と他者を尊重し、様々な在り方を認めることができる。

学校評価の公表方法

年度末に、生徒・保護者等の学校評価結果を関係者に知らせるとともに、学校のホームページに掲載する。

現状・進捗度		
A	十分に達成している。	（80%以上）
B	概ね達成している。	（60%以上）
C	あまり十分でない。	（40%以上）
D	不十分である。	（40%未満）

自己評価（分析、計画、取組、評価）

番号	計画・取組				評価（3月31日現在）		
	重点目標	現状	具体的取組	評価項目と評価指標	進捗度	進捗状況	今後の改善方策
1	生徒の実態に即したわかる授業を実践し、個々の学力を確かなものにする。	B	ICT の活用を推進するなど、授業改善に取り組む。	**ICT を活用した授業を取り入れているか。生徒がタブレットを効果的に活用しているか。**	B	Google Classroom の研修も実施した。生徒端末の活用も進んでいる。	**ICT はすべての科目で活用することが必須であり、そのための研修を引き続き行っていく。ICT 活用に係る教材の作成・創出も必要になる。現状に満足せず、教師間の意見・情報交換を活発に進める。**
			基礎学力の定着に向け、学び直し・漢字学習を充実させる。	**学び直しの時間を確保しているか。生徒が自主的に行う漢字学習の成果を確認しているか。**	B	学び直しの時間は概ね確保できた。漢字学習は計画的に進められるような工夫が必要な状況。	
			家庭学習の定着につながる取組を充実させる。	**生徒が主体的に学習できる教材の作成に取り組んでいるか。**	B	各教科科目で宿題・課題に工夫を加えた。日常的な家庭学習の完全な定着には至っていない。	
2	基本的生活習慣の確立及び教育相談の充実。	B	挨拶の励行、みだしなみ指導の徹底等、規範意識を向上させる。	**授業中のマナー指導・みだしなみ指導を徹底しているか。**	A	各学期はじめにマナー指導・みだしなみ指導を実施した。	**授業マナーや身だしなみについては生徒に定着している。生徒の情報共有については、今後も職員会議等で行う。また、支援を要する生徒については、ケース会議等で具体策を検討する。**
			生徒の情報について教職員間で共通理解を図る。	**職員会議で生徒情報を共有する時間をとっているか。支援委員会を定期的に開いているか。**	A	職員会議毎で生徒情報を共有する時間が取れた。また、定期的に支援委員会や現職教育を行った。	
			ＳＳＷや地域の関係諸機関との連携を充実させる。	**必要に応じてケース会議等が開かれているか。**	B	課題のある生徒については、支援委員会を通して、職員会議等で対応を検討している。	
3	キャリア教育を充実し進路意識を高めるため、個に応じた指導を徹底する。	B	三者面談等を通じて生徒・保護者との意思疎通を図る。	**進路決定について、三者面談等を行い、生徒・保護者の希望が充分反映されたか。**	B	担任と連携して、三者面談や生徒との面談に進路指導部長も入って進路意識の喚起を行った。	**面談等については、必要に応じて担任と連携を取り、企画・実施する。オープンキャンパス等の情報提供や、企業説明会、企業見学の機会を通して、生徒の進路意識を喚起していく。**
			就職・進学に向け、面接指導や補習を充実させる。	**生徒全員の進路希望が叶えられているか。**	B	今年度は卒業生がいなかったが、2 年生に指導を行った。	
			インターンシップや職場見学を積極的に実施する。	**企業説明会や企業見学が計画的に実施されているか。**	B	３日間のインターンシップで進路意識の向上を図った。	
4	学校開放や地元学校との交流に努め、地域に根ざした学校づくりを推進する。	B	地域の人的・物的資源を教育活動に積極的に取り入れる。	**地域産業、福祉施設等と連携した体験的な授業が行われているか。**	B	総合的な探究の時間や学校設定科目等で実施できている。	**文化祭には悪天候にかかわらず多くの方々に足を運んでいただき、企画も好評であった。今後も交流の機会を設ける。小学校・中学校との交流についても、内容を充実させ計画的に実施する。情報発信については、動画の内容をさらに充実させる。**
			地域住民との交流の機会を設け、高校生としてできる地域貢献を推進する。	**文化祭の一般公開を再開し、地域住民との交流を深めることができたか。**	B	文化祭は一般公開とし、地域住民の方や清水地域の施設の方々との交流を深めることができた。	
			地域小中学校との連携を進め職員・生徒間の交流を推進する。	**学期に１回以上の小中学校訪問や職員・生徒間の交流ができているか。**	B	小中学校との交流は随時意見交換しながら実施している。中学校とは合同の調理実習を実施した。	
			情報発信の方法・内容を充実させる。	**行事等の動画を含むホームページの内容を充実させているか。**	B	動画の配信は 30 本以上となり、クラブ活動報告等も充実できた。	

学校関係者評価（１２月１日実施）

在校生・保護者・学校運営協議会委員を対象に、具体的な項目を挙げたアンケート形式の学校評価を実施した。その結果、概ね良好な評価を得た。
中学校との交流、地域学習、ボランティア活動等、地域との連携を積極的に続けてきた結果、ある一定の評価を頂くことができた。
学校運営協議会からは、「清水分校の取り組みはすごく素晴らしいと思いますので、広く色々な人に知ってもらうことが大事だと思います。」等の評価あった。また、地域学習・交流について、「少人数であるが、文化祭の一般公開等よくやっている」、「体験的な取組を通して、表現力などの成長が感じられる」ホームページ等の広報活動について、「学校生活の様子がよく伝わっている」等の評価を得た。